

イントラネット超簡単構築ツール

MyWeb[®] PortalOffice 1.3

データコンバートマニュアル Standard 4.0/3.x 用

第 2.9 版

2014 年 03 月 11 日

目次

1. 注意事項.....	1
2. 準備.....	2
(1) MyWeb® Portal Office をインストールし動作確認を行う.....	2
(2) サーバーへのクライアントからのアクセスの停止.....	2
(3) MyWeb® Standard のバージョンを確認する.....	2
(4) MyWeb® Standard のデータベース接続設定を確認する.....	3
(5) MyWeb® Standard 添付ファイル格納領域の物理パスを確認する.....	3
(6) MyWeb® Portal Office データベースユーザのパスワードを確認する	4
(7) MyWeb® Portal Office 添付ファイル格納領域の物理パスを確認する	4
(8) MyWeb® Standard のバックアップを行う	4
(9) データコンバートツールをインストールする.....	5
(10) 移行用設定ファイルの修正.....	8
3. データコンバートツールの実行.....	9
(1) 各種機能のデータ移行.....	10
(2) 添付ファイルの移行	11
(3) 移行プログラムの削除.....	12

1. 注意事項

MyWeb® Standard からの移行において本コンバートツールでは以下の情報は移行されません。
予めご了承ください。

■MyWeb® Standard(MSDE 版)の場合

機能名	内容	Ver3.0x	Ver3.1x	Ver4.0x
	「MyWeb® Standard Edition 4.0」 「MyWeb® Standard Edition 3.0 ～ 3.1」(Access 版を除く)			
管理者設定	メニュー名の表示 / 非表示設定の情報(全て表示されます)	×	×	×
	個別登録したメニュー名の情報(Portal Office のデフォルトが設定されます)	×	×	×
	各機能のログイン要 / 不要設定の情報(Portal Office のデフォルトが設定されます)	×	×	×
	背景等のデザイン設定の情報	／	／	×
	個別登録した休日設定の情報(固定祝日[ハッピーマンデー含む]のみに戻ります)	×	×	×
	admin(システム管理者)ユーザーのパスワード(初期値に戻ります)	×	×	×
トップページ	項目の表示 / 非表示設定(Portal Office のデフォルトが設定されます)	×	×	×
	トップページに表示されている各種メッセージ情報	×	×	×
掲示板	表示行数 / New イメージ期間設定	×	×	×
MyWebMail	送信者、受信者が同一ユーザのメール(自分宛に送ったメール)	×	×	／
	Standard で削除されたユーザからの受信メール情報	×	×	×
	Standard で削除されたユーザへの送信メール情報	×	×	×
	送信者が削除した受信メール情報	×	×	×
	受信者が削除した送信メール情報	×	×	×
	取り戻しを行ったメール情報	×	×	×
日報管理	日報データ	／	／	×
共有アドレス帳	ユーザの画像	×	×	／
在席管理	行先項目 / 用件	／	／	×
ワークフロー	代理承認者設定	×	×	×
ライブラリ	ワークフローデータ	×	○	○
	拡張子設定	×	×	×
電子会議	表示行数 / New イメージ期間設定	×	×	×
利用状況表	過去(Standard 利用時)の利用状況表の全ログ情報	×	×	×
携帯電話機能	携帯電話機能環境設定	×	×	×

凡例 ／:元々機能なし ×:移行不可 ○:移行可

- Standard3.0/3.1 で移行できるのは MSDE 版のみです。
- 過去の利用状況表データまたデータ件数の多い機能(MyWebMail、スケジュール、ワークフロー、日報等)では、移行処理に1～数時間要する場合があります。
- 掲示板・・・移行前に投稿している記事に対して移行後、Portal Office 側で掲載期間を設定した場合、その記事については掲載期間が過ぎると表示できなくなります。また、掲示板に権限を設定している場合は、Portal Office 側の掲示板管理者画面においてセキュリティ設定を「高」に設定して下さい。
- スケジュール・・・機能管理者情報も移行されます。Portal Office の機能管理者では、全てのスケジュールの編集に加え

てスケジュール機能設定を行うことができます。自分以外のスケジュール編集を目的としていた場合は、機能管理者ではなく、セキュリティ設定を「低」に設定して下さい。

- MyWebMail・・・サーバにメールを残していた場合、データ移行後初めて e-mail 受信の際、前回受信時の記録がないため(受信メールの判定方法が異なるため)、サーバ上のメールがすべて新着と判断されます。大量のメールをサーバに残している場合には、事前にサーバ上のメールの削除をお願いします。

2. 準備

(1) MyWeb® Portal Office をインストールし動作確認を行う

データコンバートツールを利用するには、以下の2つの方法があります。

[新規サーバー] ※推奨

MyWeb® Standard が稼働中のサーバーと異なる新規サーバーに MyWeb® Portal Office をインストールする。

[同一サーバー]

MyWeb® Standard が稼働中のサーバーと同一サーバーに MyWeb® Portal Office をインストールする。

Standard3.0～3.1 の MSDE 版を利用している場合は、データベースシステムの切替(SQLServer2005 への切替)が必要となります。

セットアップマニュアルを参照の上インストールを行ってください。

(2) サーバーへのクライアントからのアクセスの停止

データコンバート作業中にクライアント端末からサーバーへのアクセスがあると、データコンバートが失敗する可能性があります。

データコンバート作業は業務停止後や、アクセスの少ない時間帯に行うようにしてください。もしくはサーバーに接続している LAN ケーブルをはずして作業するなど、物理的にアクセスできない状態にしてください。

ただしこの場合、DNS を利用する LAN 環境では、Web サーバーへアクセスするための URL 指定が正常に動かなくなる場合があります。データコンバートのメニュー画面の URL は、"http://IPAddress/myweb10po/dataconvert" のように IP Address で指定してください。

また、この場合にプロキシを経由する設定をしている場合は、プロキシの設定を変更してください。

(3) MyWeb® Standard のバージョンを確認する

MyWeb® Standard のバージョンを確認します。

MyWeb® Standard を立ち上げ、管理者でログインし、[管理者メニュー]-[システム情報]のバージョン情報にある MyWeb® のバージョン「MyWeb® Standard xxxx」を確認してください。

「xxxx」部分はコンバート設定ファイルで使用します。

・・・①MyWeb® のバージョン

(4) MyWeb® Standard のデータベース接続設定を確認する

現在利用中の MyWeb® Standard でデータベースとの接続に利用している「データベース名」等を確認します。

MyWeb®のインストール先の¥include フォルダ「const.inc」ファイルをメモ帳などで開いてください。
以下の③～⑥項目はコンバート設定ファイルで使用します。

■MyWeb® Standard 4.0x の場合

デフォルトのインストールフォルダ D:¥inetpub¥fkc¥myweb40std

《const.inc の内容》

```
*** MSDE/SQL Server ***  
Const SQL_PROVIDER="SQLOLEDB"  
Const SQL_SRC="(local)"          ...③DB のアドレス  
Const SQL_CATALOG="myweb40std"   ...④DB 名  
Const SQL_USER="sa"              ...⑤アクセス用 ID  
Const SQL_PASSWD=""              ...⑥アクセス用パスワード
```

■MyWeb® Standard 3.1x の場合

デフォルトのインストールフォルダ C:¥inetpub¥fkc¥myweb31std

《const.inc の内容》

```
*** MSDE/SQL Server ***  
Const SQL_PROVIDER="SQLOLEDB"  
Const SQL_SRC="(local)"          ...③DB のアドレス  
Const SQL_CATALOG="myweb31std"   ...④DB 名  
Const SQL_USER="sa"              ...⑤アクセス用 ID  
Const SQL_PASSWD=""              ...⑥アクセス用パスワード
```

■MyWeb® Standard 3.0x の場合

デフォルトのインストールフォルダ C:¥inetpub¥fkc¥myweb_std3

《const.inc の内容》

```
Const CONST_ODBC_DSN = "myweb300std"    ...データソース名  
※ [管理ツール]の[データソース(ODBC)]で、この名前のデータソースの設定から DB  
のアドレス、DB 名を確認し、③DB のアドレス、④DB 名を取得して下さい。  
Const ODBC_USER="sa"                  ...⑤アクセス用 ID  
Const ODBC_PASSWD=""                  ...⑥アクセス用パスワード
```

(5) MyWeb® Standard 添付ファイル格納領域の物理パスを確認する

現在利用中の MyWeb® Standard の添付ファイル格納領域「uploadlib」へのパスを確認します。
物理パスはコンバート設定ファイルで使用します。 ...⑦添付ファイル格納フォルダ

■MyWeb® Standard 4.0x の場合

デフォルトの添付ファイル格納場所 D:\inetpub\wwwroot\myweb40std\uploadlib

■MyWeb® Standard 3.1x の場合

デフォルトの添付ファイル格納場所 C:\inetpub\wwwroot\myweb31std\uploadlib

■MyWeb® Standard 3.0x の場合

デフォルトの添付ファイル格納場所 C:\inetpub\wwwroot\uploadlib_std3

(6) MyWeb® Portal Office データベースユーザのパスワードを確認する

新規にインストールした MyWeb® Portal Office のデータベースへの接続ユーザのパスワードを確認します。MyWeb®のインストールフォルダの¥src フォルダ「Web.config」ファイルをメモ帳などで開いてください。パスワードはコンバート設定ファイルで使います。・・・⑨Portal Office アクセス用パスワード

デフォルトのインストールフォルダ D:\inetpub\wwwroot\myweb10po

《Web.config の内容》

〈!ー MyWeb データベース設定値 ー〉

```
<add key="cnf_com_CntString" value="user id=myweb10user;password=pass;data  
source=(local);persist security info=False;initial catalog=myweb10po" />
```

※「password=」に続く文字列がパスワードです。上記の場合のパスワードは「pass」です。

(7) MyWeb® Portal Office 添付ファイル格納領域の物理パスを確認する

新規にインストールした MyWeb® Portal Office の添付ファイル格納領域「uploadlib」へのパスを確認します。物理パスはコンバート設定ファイルで使います。・・・⑩Portal Office 添付ファイル格納フォルダ

デフォルトのインストールフォルダ D:\inetpub\wwwroot\myweb10po\uploadlib

(8) MyWeb® Standard のバックアップを行う

データコンバートツールを実行する前に、現在利用中の MyWeb® Standard のバックアップを行うことをお勧めします。

■既存が MyWeb® Standard 4.0x の場合

製品添付のバックアップマニュアルを参照してください。

■既存が MyWeb® Standard 3.1x の場合

《DB バックアップ》

コマンドプロンプトを立ち上げ、以下のコマンドを実行してください。

```
osql -Usa -P -Q"BACKUP DATABASE myweb31std TO DISK='D:\myweb31std.bak' "
```

※正常に実行されると、D ドライブ直下に myweb31stdbak という DB のバックアップファイルが作成されます。

※保存先を変更される場合は、コマンドの「TO DISK」のあとに保存先とファイル名を指定してください。

《添付ファイルバックアップ》

MyWeb®のインストール先にある myweb31std フォルダをコピーしてください。

■既存が MyWeb® Standard 3.0x の場合

《DB バックアップ》

My コマンドプロンプトを立ち上げ、以下のコマンドを実行してください。

```
osql -Usa -P -Q"BACKUP DATABASE myweb300std TO DISK='D:\myweb30std.bak' "
```

※正常に実行されると、Dドライブ直下に myweb30std.bak というDB のバックアップファイルが作成されます。

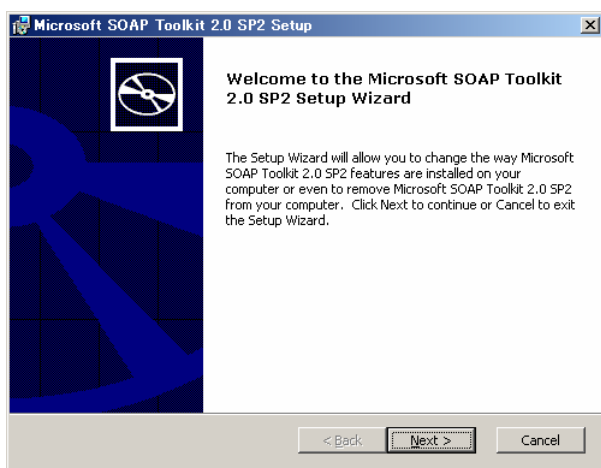
※保存先を変更される場合は、コマンドの「TO DISK」のあとに保存先とファイル名を指定してください。

《添付ファイルバックアップ》

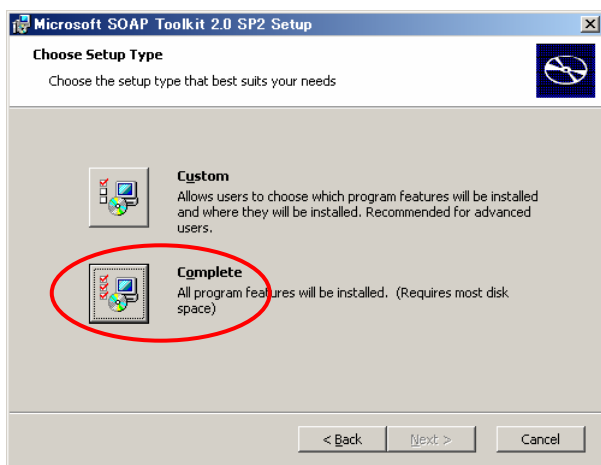
MyWeb® のインストール先にある myweb_std3 フォルダと uploadlib_std3 フォルダをコピーしてください。

(9) データコンバートツールをインストールする

①CD-ROM の「SoapToolkit20.exe」を実行しサーバーにインストールします。



ウィザードに従ってインストールし、Setup Type は Complete を選択して下さい。



②CD-ROM の「dataconvert_std.exe」(Standard 用)を実行しコンバートツールをサーバーにインストールします。

コンバートツールは MyWeb® Portal Office のシステム領域にインストールして下さい。
(規定値 D:\inetpub\wwwroot\myweb10po\src\dataconvert)

■「新規サーバー」へインストールした場合

CD-ROM の BASP21.exe を Portal Office がインストールされているサーバー上で実行し、Basp21 をインストールして下さい。

■Windows Server 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 にインストールした場合

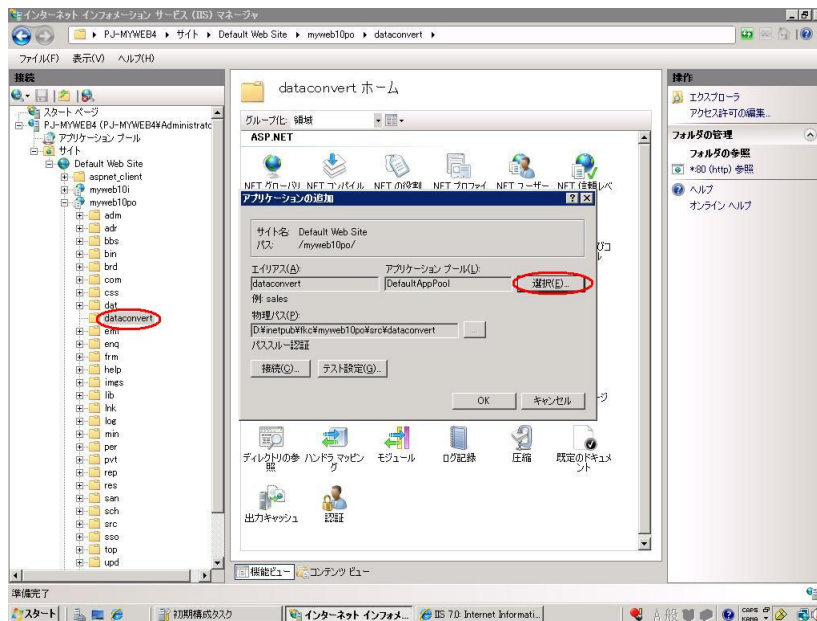
データコンバートツールは「Classic .NET AppPool」で実行する必要があります。
以下の設定を行ってください。

仮想ディレクトリをアプリケーション化する。

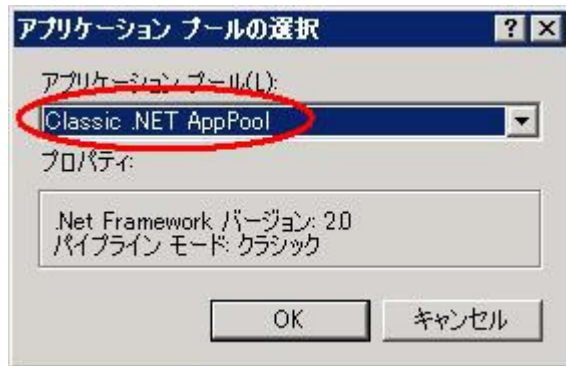
「スタート」→「管理ツール」→「インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャ」を起動する。

画面左のサーバー名-「サイト」-「Default Web Site」-「myweb10po」-「dataconvert」を右クリックし「アプリケーションへの変換」を選択する。

「アプリケーションの追加」ダイアログの「選択」をクリックする。



「アプリケーションプールの選択」ダイアログで、「Classic .NET AppPool」を選択する。

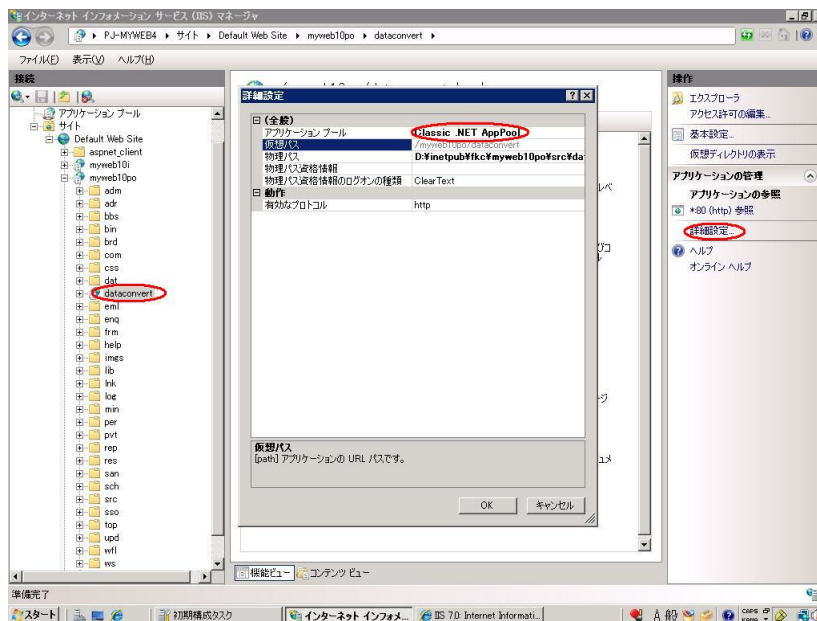


[OK]ボタンをクリックして、「アプリケーションの追加」ダイアログに復帰する。

[OK]ボタンをクリックして、「アプリケーションの追加」ダイアログを終了する。

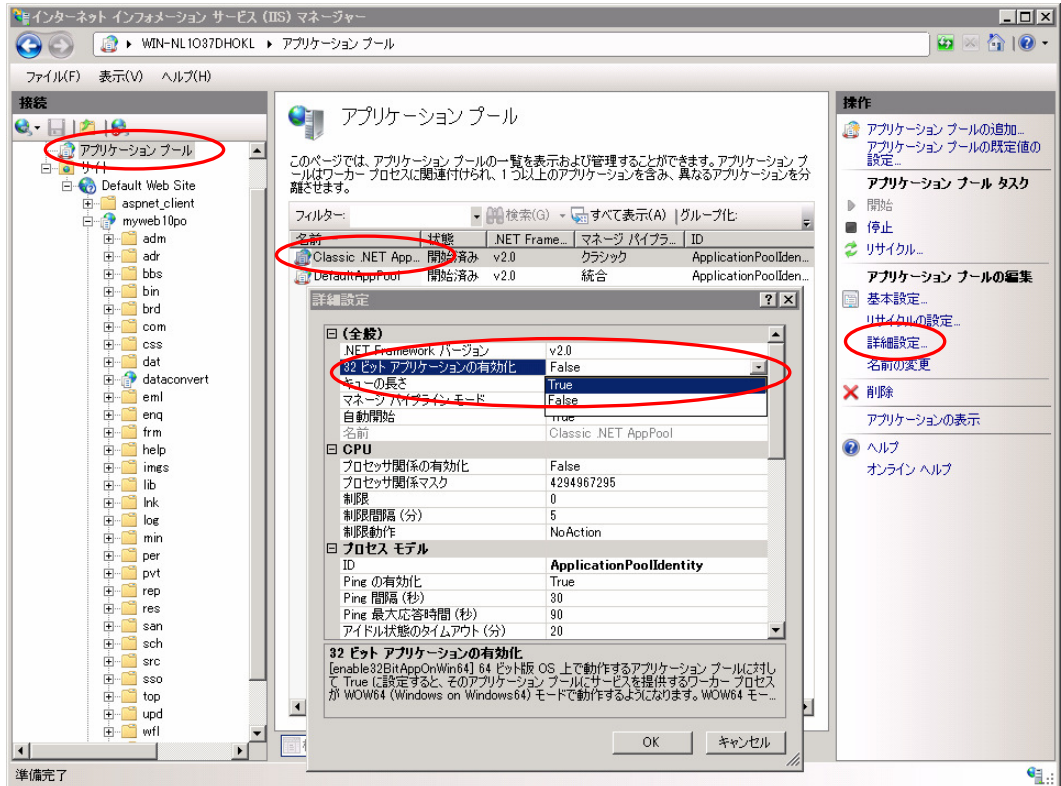
アプリケーションのアプリケーションプールは、アプリケーションを選択して、「詳細設定」をクリック、「詳細設定」ダイアログを表示することで確認できます。

また、ダイアログからアプリケーションプールを変更できます。



※2012 R2 / 2012 / 2008R2 の場合は、「32ビットアプリケーションの有効化」を True にする必要があります。

「アプリケーションプール」-「Classic .Net AppPool」-「詳細設定」をクリックし、「32ビットアプリケーションの有効化」を True に変更し[OK]ボタンをクリックする。



(10)移行用設定ファイルの修正

コンバートの実行前に、先に集めた情報をコンバート設定ファイルへ書き込む必要があります。次ページの設定箇所を確認のうえ、ファイルの修正を行ってください。

コンバート設定ファイル (デフォルトは D:\inetpub\wwwroot\myweb10po\src\dataconvert\adovbs.inc)

——MyWeb Standard バージョン——

STD_VERSION="4.09" *** 管理者メニュー→システム情報をご確認下さい・・・①MyWeb®バージョン

OLD_ODBCTYPE="MSDE" '固定値(変更しないで下さい。) ...②TYPE

MyWeb Standard 情報

OLD_DB_ADDRESS="192.168.0.1"	...③DB のアドレス
OLD_DB_NAME="myweb40std"	...④DB 名
OLD_USR_NAME="sa"	...⑤アクセス用 ID
OLD_USR_PASS=""	...⑥アクセス用パスワード

MyWeb Standard 添付ファイル情報

OLD_UPL_PATH="F:\inetpub\wwwroot\myweb40std\uploadlib"	...⑦添付ファイル格納フォルダ
--	------------------

MyWeb Portal Office 情報

NEW_DB_ADDRESS="192.168.0.2"	...⑧Portal Office DB サーバーのアドレス
NEW_DB_NAME="myweb10po"	
NEW_USR_NAME="myweb10user"	
NEW_USR_PASS="mywebXXXX"	...⑨Portal Office アクセス用パスワード
NEW_UPL_PATH="D:\inetpub\wwwroot\myweb10po\uploadlib"	...⑩Portal Office 添付ファイル格納フォルダ

■記入項目について

①、③～⑦、⑨～⑩は、上記で確認した情報を記入します。

③と⑧は“(local)”ではなく、IP アドレスで記入してください。

[新規サーバー] インストールの場合は、⑦のフォルダに対してアクセスできないため、次のいずれかの作業を行い設定内容を変更してください。

・ネットワークドライブの割り当てを行う

Portal Office サーバー側の論理ドライブに MyWeb® Standard サーバー側インストールドライブ (d:\ など) をネットワークドライブとして割り当て後、設定を行います。

例) Portal Office サーバー側の F ドライブ (ネットワークドライブ) に MyWeb® Standard サーバー側の D ドライブを割り当てると⑦の設定は、「F:\inetpub\wwwroot\myweb40std\uploadlib」となります。

・フォルダのコピーを行う

MyWeb® Standard サーバー側の添付ファイル領域を Portal Office サーバー側の任意のフォルダにコピーしてもコンバートを行うことができます。

例) MyWeb® Standard サーバー側の添付ファイル領域 d:\inetpub\wwwroot\myweb40std\uploadlib を Portal Office サーバー側の D ドライブにコピーすると⑦の設定は「D:\uploadlib」となります。(D は、ローカルドライブ)

※Standard3.0～3.1 の MSDE 版を利用している場合は、データベースシステムの切替(SQL Server2005 への切替)が必要となります。切替方法は、MyWeb®サポートサービスまでお問い合わせ下さい。

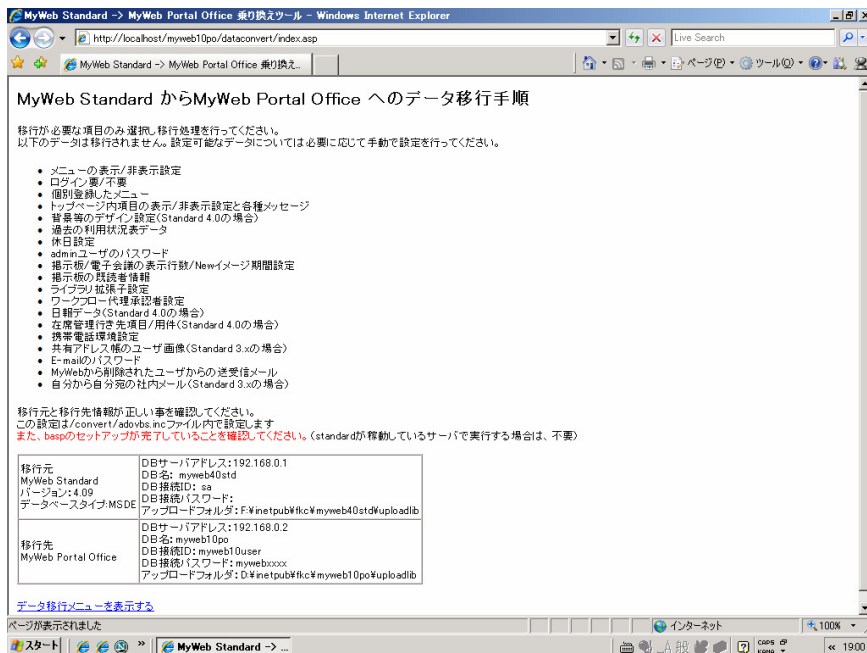
※SQL Server 2000 からデータコンバートを実施する時、コンバート先のデータベースが SQL Server 2012 の場合はバージョン間の互換性がない為にデータコンバートが出来ません。SQL Server 2008 R2 にダウングレードしたものを予めご用意下さい。

3. データコンバートツールの実行

(1) 各種機能のデータ移行

ブラウザよりコンバートツールのインストールフォルダをアクセスします。

例 <http://localhost/myweb10po/dataconvert/index.asp>



設定ファイルの情報が正しいことを確認し「データ移行メニューを表示する」をクリックします。



ユーザ名簿機能については必ず移行を行ってください。その他の機能については現在利用しているもの(移行が必要なもの)のみ移行を行ってください。「機能名」をクリックし、画面遷移後の画面で「実行」ボタンをクリックするとコンバート処理が開始します。

コンバート中は画面上の変化はありません。正常終了すると、「データ移行は、正常終了しました。」というメッセージが表示されます。または、途中でエラーが発生した場合は、メッセージを表示して終了します。

また、データの移行時に大量のデータを移行する場合などに非常に反応が遅くなる場合がありますが、画面上で何の変化がない場合でも、「データ移行は、正常終了しました。」のメッセージが表示されるか、タイムアウトなどのエラーメッセージが表示されるまで画面遷移をしないようにしてください。

(2) 添付ファイルの移行

掲示板、電子会議、ライブラリ、議事録、ワークフロー、ユーザ名簿(個人イメージファイル)、MyWebMail、データバンクの各機能毎に添付ファイルの移行を別途行う必要があります。

各機能の移行プログラム実行後、MyWeb® Portal Office の添付ファイル格納領域(デフォルトでは D:\inetpub\wwwroot\myweb10\uploadlib) に移行用バッチファイルが作成されます。このバッチプログラムを実行してください。(移行処理を行っていない機能および添付ファイルが存在しない場合、バッチプログラムは作成されません)

掲示板添付ファイル移行	...bbs.bat
電子会議添付ファイル移行	...frm.bat
ライブラリファイル移行	...library.bat
議事録添付ファイル移行	...min.bat
ワークフロー添付ファイル移行	...wfl.bat
MyWebMail 添付ファイル移行	...eml.bat
データバンク添付ファイル移行	...dat.bat

ダブルクリック又はコマンドプロンプトより各 bat ファイルを実行してください。添付ファイルがコピーされます。

ユーザ名簿の個人イメージファイルについては以下の手順で移行を行います。

MyWeb® Standard のインストールフォルダの¥src¥personal¥photo フォルダの下のフォルダ(1,2,3,...の数値で作成されているフォルダ)全てを選択し、MyWeb® Portal Office の添付ファイル格納領域(デフォルトでは D:\inetpub\wwwroot\myweb10\uploadlib)の¥per¥photo フォルダにコピーしてください。

■MyWeb® Standard 4.0x の場合

デフォルトのインストールフォルダ D:\inetpub\wwwroot\myweb40std

■MyWeb® Standard 3.1x の場合

デフォルトのインストールフォルダ C:\inetpub\wwwroot\myweb31std

■MyWeb® Standard 3.0x の場合

デフォルトのインストールフォルダ C:\inetpub\wwwroot\myweb_std3

(3) 移行プログラムの削除

データコンバート用フォルダ(デフォルトインストールした場合

D:\inetpub\wwwroot\myweb10\po\src\dataconvert) 及び(2)で生成された bat ファイルを削除してください。

※src 配下の他のフォルダは削除しないで下さい。

以上で移行作業は終了です。

注意事項

- 1) コンバートの実行途中で「ページを表示できません。」というエラーメッセージが表示され、処理が中断する場合があります。これは、特定機能のデータ件数が多いために、ブラウザの規定時間内に処理が終了しなかったために発生する現象です。

以下の手順により、設定を変更し、再度コンバートを実行して下さい。

- ①移行用設定ファイル(adovbs.inc)を開き、以下のタイムアウト時間を延ばします。

※規定値 3600(秒)=1 時間

```
'——スクリプトタイムアウト時間(秒)——  
Value_ScriptTimeout=3600  
'——コマンドタイムアウト時間(秒)——  
Value_CommandTimeout=3600
```

例) Value_ScriptTimeout=7200 ⇒2時間に延長

- ②コンバートを再実行します。途中で「ページを表示できません。」というエラーメッセージが表示されてもサーバー側でコンバート処理は継続されますので、30 分～1 時間程度時間を置いてから、再度コンバートツールの「データ移行メニュー」を表示させます。

- ③該当機能の「状態」に「○」が表示されていれば正常終了です。「×」が表示されている場合は、「○」が表示されるまで、30 分～1 時間程度待つ⇒「データ移行メニュー」を表示させる の操作を繰り返して下さい。

■InternetExploere の場合

Microsoft 社の参考サイト ⇒ <http://support.microsoft.com/kb/181050/ja> を参考にして、レジストリキーを変更 (InternetExploere タイムアウト時間の延長)しても対応は可能です。その場合、②～③の操作は必要ありません。

- 2) 移行した添付ファイルの変更・削除でエラーが発生した場合、マニュアル「よくある質問/エラー発生時の対処法について」の「1. エラーメッセージが表示された場合の対処方法」の「③ファイルの登録を行うと、『XXX アクセスが拒否されました』が表示される。」の対応を行って下さい。